

校章・校歌



- 外形は川平の名花ツツジの花弁三枚を組み合わせたもの
  - 三枚の花弁の三角形は人間の理想的な姿(真・善・美の調和)
  - 花弁の周辺の細長い三角状は川平の豊かさと勤勉の精神を象徴
  - ペンは学問進及を表す
  - 中央の円と川平の文字は円満な人格と円満な校風本校の発展を象徴
- (昭和二十八年十一月十七日制定)

校歌

作詞 富村 致佑  
作曲 外間 永律

おもとのやーまにきーよーいうみこが  
ねのいーなだかーぜゆれてかび  
らのむーらのうーつーくしさあ  
このさーとのなをーおうてたー  
かくそびえるかびーらこう

川平校校歌

作詞 富村 致佑  
作曲 外間 永律

一 おもとの山に 清い海  
黄金の稲田 風ゆれて  
川平の村の 美しさ  
あーこの里の名を負うて  
高く そびえる 川平校

二 古い歴史の 世は明けて  
今ぞ高なる 鐘の音に  
愛と自由の 日は昇る  
ああこの光 仰ぎつつ  
雄々しく 進む 川平校

三 行く手は はるか遠くとも  
友よ互いに 手をとって  
いざや築かん 理想郷  
ああとこしえに 榮え行く  
希望輝く 川平校

昭和二十四年十二月一日制定